

信州大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年12月22日

「エストロゲン受容体陽性高齢者乳癌における原発巣非切除内分泌療法の治療成績に関する解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4990
研究課題名	エストロゲン受容体陽性高齢者乳癌における原発巣非切除内分泌療法の治療成績に関する解析
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科
研究責任者(職名)	前野一真(講師)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年12月21日
研究の意義、目的	高齢者乳癌に対する原発巣非切除で内分泌療法のみを選択した場合、どの程度の治療成績が得られるか調べることを目的とした研究で、重篤な基礎疾患や認知症等による自己決定能低下が認められたり、手術を回避したいと考える高齢者乳癌患者さんにおいて、治療選択肢のひとつとして患者さんおよびご家族が考える上で、重要な情報を提供できると考えられます。
対象となる患者さん	2007年1月1日から2019年12月31日の期間に当院で乳癌について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	性別、年齢、基礎疾患の有無およびPhysical status、自己決定能の有無、超音波検査あるいはCT検査における腫瘍径、原発巣への針生検の病理所見(組織型、核異型度、リンパ節転移の有無、エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2、Ki67 labeling index)、遠隔転移検査の有無、病期、内分泌療法開始日、選択した薬剤・効果・奏効期間、治療抵抗時の対応(薬剤変更あるいは原発巣の外科的切除)およびその奏効期間、全生存期間
他機関から情報の提供を受ける方法	記録媒体、郵送、電子的配信 等により提供を受けます。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、内分泌療法の効果および奏効期間、全生存期間について検討します。
協力研究機関名	飯山赤十字病院(責任者:石坂克彦)、北アルプス医療センターあづみ病院(責任者:花岡正臣)、富士見高原病院(責任者:安達 亘)

問い合わせ先	氏名(所属・職名):前野一真(外科学教室乳腺内分泌外科学分野・講師) 電話:0263-37-2657
--------	--

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。